

取扱説明書

ウォッチ

3517*JA

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

この時計の特長

◆ タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が0になると電子音でお知らせします。

◆ ストップウォッチとして使えます

1/100秒単位で24時間まで計測できます。

◆ アラームを設定できます

設定した時刻になると、電子音でお知らせします。

◆ デュアルタイムがわかります

海外時刻など、2つ目の時刻を表示できます。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。



警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止

⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています(左の例は分解禁止)。




△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

危険


電池について

 ボタン電池を取り外した場合は、電池を誤飲しない、させない。特に乳幼児の手が届く所に電池を置かない。


電池を飲み込んだ場合、または飲み込んだ恐れがある場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。

警告

スクーバダイビングに使用しない

 本機をスクーバダイビングに使用しない。本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

分解・改造しない

 本機を分解・改造しない。
けがの原因となります。

分解禁止

注意

お手入れについて



ケース・バンドは常に清潔にして使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

かぶれについて



時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。

きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



ときどき時計を外して手首を休ませる

お客様のご使用いただく環境(長時間の装着や汗をかいた場合など)によっては、皮膚(肌)に負担がかかる場合があります。皮膚障害を防ぐため定期的に製品の装着をやめ、皮膚(肌)を休ませてください。

ご使用にあたって



時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中はご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。



時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。



小さなお子様と接するときは、時計を外す。

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。



電池消費で時計が止まった場合は、速やかに電池を交換する。

電池の液漏れによる周囲の汚損の原因となることがあります。



時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。


目次


この時計の特長.....	1	電子音を止める.....	16
安全上のご注意	2	ストップウォッチ	17
本書について	8	ストップウォッチモードを選ぶ.....	17
本文中の記号について	8	計測する.....	17
操作部と画面表示について	8	オートスタート機能.....	18
画面に表示されるマークについて	9	ターゲットタイム報知機能.....	19
時刻を合わせる.....	10	アラーム・時報.....	20
日付と時刻を合わせる.....	10	アラームモードを選ぶ.....	20
モードの種類と切り替え.....	12	アラーム時刻を設定する	20
各モードでできること	13	アラーム・時報のオン/オフ	21
タイマー.....	14	電子音を止める.....	21
タイマーモードを選ぶ.....	14	電子音を確認する(モニターアラーム)	21
計測時間を設定する	14	海外の時刻を見る(デュアルタイム)	22
計測する.....	15	デュアルタイムモードを選ぶ.....	22
オートリピートタイマー・予告音のオン/オフ	16	タイム2を設定する	22
		タイム2の12/24時間制を切り替える.....	22

ライト	23
ライトを点灯させる	23
製品仕様	24
ご使用上の注意	25
お手入れについて	29
電池交換について	30
金属バンドの駒詰めについて	30

本書について

本文中の記号について

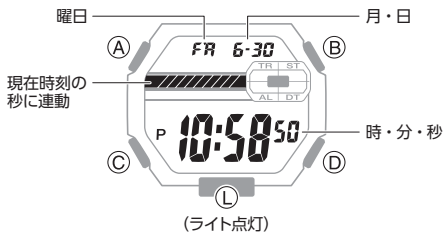
 **参考**：各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。

 **：** 詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。

操作部と画面表示について

この時計の操作は、**(A)～(D)** ボタンおよび **(L)** ボタンを使用します。また、各表示部は以下を表します。

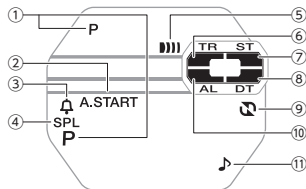
 **モードの種類と切り替え…P.12**



参考

- この取扱説明書では各ボタンの操作を説明するために、図に記載した名称を使用しています。
- この取扱説明書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

画面に表示されるマークについて



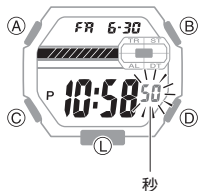
番号	名称	点灯(点滅)しているときは	参照ページ
①	午後マーク	12時間制で午後の時刻を表示しています	11
②	オートスタートマーク	ストップウォッチのオートスタート機能のカウントダウン中です	18
③	時報マーク	時報が鳴ります	20
④	スプリット計測マーク	ストップウォッチのスプリット計測中です	17
⑤	アラームマーク	アラームが鳴ります	20
⑥	タイマーモードマーク	タイマーモードです	14
⑦	ストップウォッチモードマーク	ストップウォッチモードです	17
⑧	デュアルタイムモードマーク	デュアルタイムモードです	22
⑨	オートリピートタイマーオンマーク	オートリピートタイマーが設定されています	16
⑩	アラームモードマーク	アラームモードです	20
⑪	予告音オンマーク/ ターゲットタイムオンマーク	タイマーの予告音またはストップウォッチのターゲットタイムが設定されています	16

時刻を合わせる

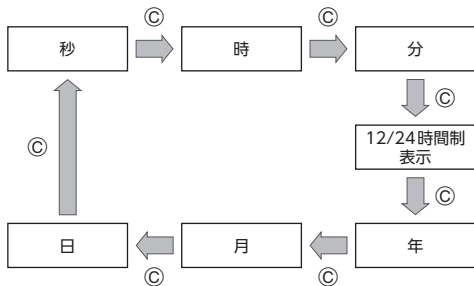
現在の日付と時刻に合わせることができます。

日付と時刻を合わせる

- ① 時刻モードで、**A** ボタンを2秒以上押し続け、セット状態に切り替えます。
「秒」が点滅します。



- ② **C** ボタンを押して、設定する項目を選択します。



- ③ ⑧または⑩ボタンを押して、以下の設定を変更します。

画面	変更項目	操作
50	秒を「00」にリセット • 30～59秒のときは 1分繰り上がります。	⑩ボタン を押す
P 10:58	「時」「分」の変更	⑧または ⑩ボタン を押す*
12 H	12時間制(12H)と24 時間制(24H)の表示切 り替え	⑧または ⑩ボタン を押す*
23 6-30	「年」「月」「日」の変更	⑧または ⑩ボタン を押す*

* ⑧または⑩ボタンを押し続けると早送りできます。

参考

- 日付の設定は、異なる月の長さや、うるう年にも対応しています(フルオートカレンダー)。
- 12時間制の午後には「P」(午後マーク)が点灯します。

- ④ ①ボタンを押して設定を終了します。
時刻モードに戻ります。

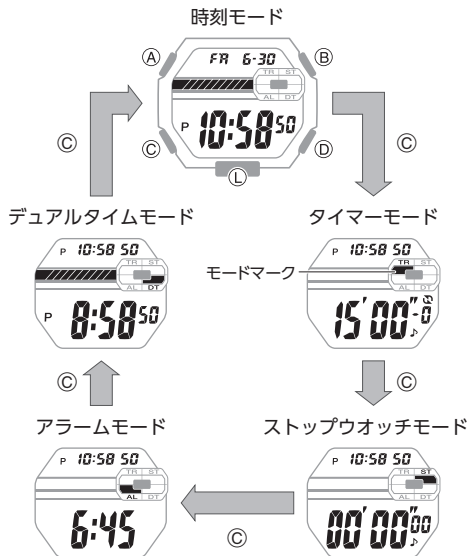
参考

- 設定画面で、何も操作せず2～3分間経過すると、セット状態が解除されます。

モードの種類と切り替え

◎ボタンを押すたびに以下のようにモードが切り替わります。

- どのモードで操作していても、◎ボタンを2秒以上押し続けると時刻モードに戻ります。



各モードでできること

モード	機能	参照ページ
時刻モード	<ul style="list-style-type: none"> 時刻表示 時刻、日付、12/24時間制表示切り替え 	12 10
タイマーモード	<ul style="list-style-type: none"> タイマーの設定、計測 オートリピートタイマーの設定 予告音オン/オフの設定 	14
ストップウォッチモード	<ul style="list-style-type: none"> 経過時間の計測 オートスタート機能 ターゲットタイム報知機能 	17
アラームモード	<ul style="list-style-type: none"> アラーム時刻とオン/オフの設定 時報のオン/オフ設定 	20
デュアルタイムモード	<ul style="list-style-type: none"> 2つ目の時刻を表示 12/24時間制表示切り替え 	22

タイマー

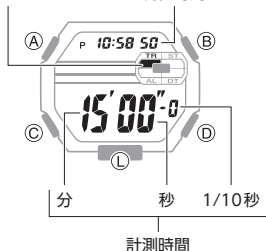
タイマーは1秒から24時間まで設定できます。タイムアップになるとタイムアップ音が10秒間鳴ります。

タイマーモードを選ぶ

- 時刻モードで◎ボタンを押して、タイマーモードに切り替えます。

🔍 モードの種類と切り替え…P.12

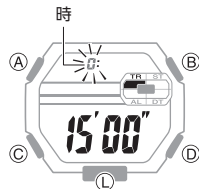
タイマーモードマーク 現在時刻*



※計測時間を1時間以上に設定したとき、または計測中は、現在時刻の代わりに計測時間の「時」を表示します。

計測時間を設定する

- ① タイマーモードで、Aボタンを2秒以上押し続けます。
「時」が点滅します。



- ② ◎ボタンを押すたびに「時」、「分」または「秒」の選択が切り替わります。
選択している項目が点滅します。

③ ⑧または⑨ボタンを押して「時」、「分」または「秒」を設定します。

- ⑧または⑨ボタンを押し続けると早送りできます。
- 計測時間を24時間に設定するときは、⑧ボタンと⑨ボタンを同時に押して、タイマー表示を0:00'00"にしてください。

④ ①ボタンを2回押して、設定を終了します。

☰ 参考

- 設定画面で、何も操作せず2～3分間経過すると、セット状態が解除されます。

計測する

● タイマー計測のボタン操作は、以下の通りです。



☰ 参考

- タイムアップになると電子音が10秒間鳴り、画面が計測前の状態に切り替わります。
- 他のモードに切り替えてもタイマー計測は継続し、電子音による報知もします。

オートリピートタイマー・予告音のオン/オフ

オートリピートタイマーをオンにすると、タイムアップ後も、計測を止めるまで自動的に計測を繰り返します。

また、予告音をオンにすると、残り時間が以下のときに音が鳴ります。

- 10、5、4、3、2、1分
- 50、40、30、20、10、5、4、3、2、1秒

① タイマーモードで、**Ⓐ** ボタンを2秒以上押し続けます。

「時」が点滅します。

② **Ⓐ** ボタンを押します。

オートリピート[On] (オン) または [OFF] (オフ) が点滅します。

③ **Ⓒ** ボタンを押すたびに「オートリピートオン (🔊) / オフ」または「予告音オン (🎵) / オフ」の選択が切り替わります。

選択している項目が点滅します。

④ **Ⓑ** または **Ⓓ** ボタンを押して、「オートリピートタイマー」または「予告音」のオン/オフを設定します。

- **Ⓑ** または **Ⓓ** ボタンを押すたびに、オンとオフが切り替わります。

⑤ **Ⓐ** ボタンを押して、設定を終了します。

🗨️ 参考

- 設定画面で、何も操作せず2～3分間経過すると、セット状態が解除されます。
- セットした時間が10秒以下で、オートリピートタイマーがオンのときは、タイムアップ音は1秒間鳴ります。
- 計測時は、通常のタイマー計測のボタン操作と同じです。

電子音を止める

● いずれかのボタンを押すと、電子音が止まります。

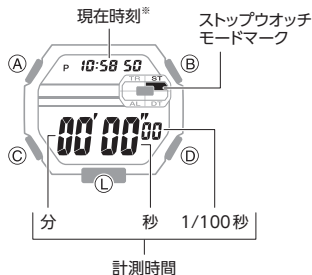
ストップウォッチ

ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99まで計測できます。計測範囲を超えた場合は、0に戻って計測を続けます。

ストップウォッチモードを選ぶ

- 時刻モードで **C** ボタンを2回押して、ストップウォッチモードに切り替えます。

🔍 モードの種類と切り替え…P.12



※計測中は、現在時刻の代わりに計測時間の「時」を表示します。

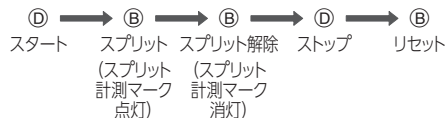
計測する

- ストップウォッチ計測のボタン操作は、以下の通りです。

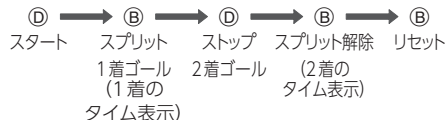
- 経過時間計測



- スプリットタイム(途中経過時間)計測



- 1・2着同時計測



参考

- 計測を開始後は、他のモードに切り替えたり、計測範囲を超えても **D** ボタンを押すまで計測を継続します。
- スプリット計測中に他のモードへ切り替えると、スプリットが解除されて経過時間を表示します。

オートスタート機能

スタート (**D** ボタン) を押すと、5 秒間のカウントダウンの後に計測を開始します。

カウントダウンの 3 秒前からは、1 秒ごとに電子音でお知らせします。

◆ オートスタート機能を使う

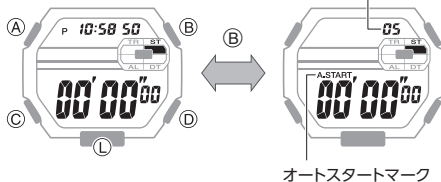
1 ストップウォッチをリセットします。

2 **B** ボタンを押して、オートスタート表示に切り替えます。

カウントダウン秒数を表示します。

通常表示

オートスタート表示



3 **D** ボタンを押して、計測をスタートします。

カウントダウンを始めます。

- カウントダウン中に **D** ボタンを押すと、カウントダウンを中止して計測を開始します。
- 計測開始後は、通常のストップウォッチのボタン操作と同じです。

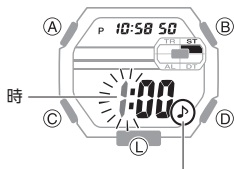
ターゲットタイム報知機能

ターゲットタイム(目標タイム)は1秒単位で1秒から24時間の間で設定できます。

ストップウォッチの計測時間がターゲットタイムに達すると、音が10秒間鳴ります。

◆ターゲットタイムを設定する

- 1 ストップウォッチをリセットします。
- 2 ①ボタンを2秒以上押し続けます。
ターゲットタイムの「時」が点滅します。



ターゲットタイム報知機能
オンのときに点灯

- 3 ③ボタンを押すたびに「時」、「分」または「秒」の選択が切り替わります。
選択している項目が点滅します。
- 4 ②または④ボタンを押して「時」、「分」または「秒」を設定します。
 - ②または④ボタンを押し続けると早送りできます。
 - 計測時間を24時間に設定するときは、②ボタンと④ボタンを同時に押して、0:00'00"にしてください。
- 5 ⑤ボタンを押して、オンとオフの設定に切り替えます。
- 6 ②または④ボタンを押して、ターゲットタイム報知機能のオンとオフを切り替えます。
 - ②または④ボタンを押すたびにオン([On]表示)とオフ([OFF]表示)が切り替わります。
 - [♪]がオンで点灯、オフで消灯します。
- 7 ①ボタンを押して、設定を終了します。

☰ 参考

- 設定画面で、何も操作せず2～3分間経過すると、セット状態が解除されます。

アラーム・時報

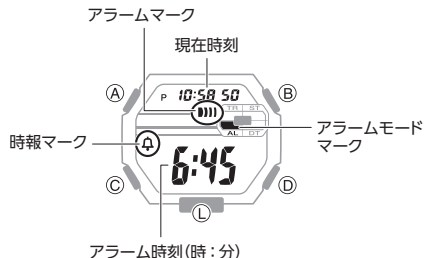
アラームで設定した時刻（アラーム時刻）になると20秒間の電子音でお知らせします。

また毎正時（00分）の時報を、電子音でお知らせすることもできます。

アラームモードを選ぶ

- 時刻モードで **◎** ボタンを3回押して、アラームモードに切り替えます。

 モードの種類と切り替え…P.12



アラーム時刻を設定する

- ① アラームモードで、**Ⓐ** ボタンを2秒以上押し続けます。

アラーム時刻の「時」が点滅します。

- ② **◎** ボタンを押すたびに「時」または「分」の選択が切り替わります。

- ③ **Ⓑ** または **Ⓓ** ボタンを押して、「時」または「分」を設定します。

- **Ⓑ** または **Ⓓ** ボタンを押し続けると早送りできます。
- 12/24時間制の設定は、時刻モードと同じになります。

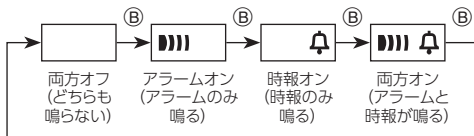
- ④ **Ⓐ** ボタンを押して設定を終了します。

参考

- 設定画面で、何も操作せず2～3分間経過すると、セッ
ト状態が解除されます。

アラーム・時報のオン/オフ

- アラームモードで **ⓑ** ボタンを押して、アラームまたは時報のオン/オフを切り替えます。



電子音を止める

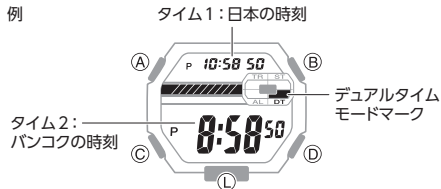
- いずれかのボタンを押すと、電子音が止まります。

電子音を確認する(モニターアラーム)

- アラームモードで **ⓑ** ボタンを押し続けると、押している間、電子音が確認できます。

海外の時刻を見る（デュアルタイム）

デュアルタイムモードでは、時刻モードの時刻（タイム1）とは別に、海外時刻などもう1つの時刻（タイム2）を見ることができます。



デュアルタイムモードを選ぶ

- 時刻モードで◎ボタンを4回押して、デュアルタイムモードに切り替えます。

🗨 モードの種類と切り替え…P.12

タイム2を設定する

- デュアルタイムモードで、Ⓐボタンを2秒以上押し続けます。

タイム2の「時」が点滅します。

- ◎ボタンを押すたびに「時」または「分」の選択が切り替わります。

- ⒷまたはⒹボタンを押して、「時」または「分」を設定します。

- ⒷまたはⒹボタンを押し続けると早送りできます。
- 「秒」はタイム1と同じ(固定)です。

- Ⓐボタンを押して設定を終了します。

🗨 参考

- 設定画面で、何も操作せず2～3分間経過すると、セット状態が解除されます。

タイム2の12/24時間制を切り替える

タイム1から独立して、タイム2の12/24時間制を選択できます。

- デュアルタイムモードで、Ⓑボタンを押すたびにタイム2の12/24時間制が切り替わります。

ライト

暗いところで時計の表示を見るときに、ライトを点灯させて画面を明るくすることができます。

ライトを点灯させる

● **①** ボタンを押すとライトが点灯します。

☰ 参考

- ライト点灯中にアラーム等のお知らせがあった場合は、消灯します。

◆ ライト使用に関する注意事項

ライトを頻繁に使用すると電池の寿命が短くなります。

製品仕様

精度：平均月差±30秒

基本機能：時・分・秒、午前/午後(P)、
12/24時間制表示、月・日・曜日、
フルオートカレンダー(2000～2099年)

タイマー機能：計測単位 1/10秒
計測範囲 24時間
セット単位 1秒
計測機能 オートリピートタイマー、
予告音オン/オフ切り替え
タイムアップ時 10秒間の電子音で報知

ストップ：計測単位 1/100秒
ウォッチ機能 計測範囲 23時間59分59秒99
(24時間計)
計測機能 経過時間計測、
スプリット計測、
1・2着同時計測、
ターゲットタイム報知機能、
オートスタート機能

アラーム機能：時刻アラーム1本
セット単位 時・分
20秒間の電子音で報知
時報
毎正時に電子音で報知

デュアル：タイム1・2
タイム機能 タイム2 セット単位 時・分
12/24時間制切り替え

その他：LEDライト

使用電池：CR2025 1個(電池別途販売)

電池寿命：約10年
使用条件
● ライト：1回(2秒)/日
● アラーム：1回(電子音20秒)/日

ご使用条件によっては、電池寿命が短くなる場合があります。

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

ご使用上の注意

■防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏ぶたに表記	日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
		[BAR]表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンドайビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水=スクーバダイビング(空気ボンベ使用)での使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」リ्यूーズボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること

- 時計を手につけたまま手洗い/洗顔/家事などをするとともに、石鹸や洗剤を使うこと

- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷氣や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。なお、曇りが消えなかつたり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご使用上の注意

■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/BABY-G/G-MS）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれら含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- とときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押し戻してください。

■お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

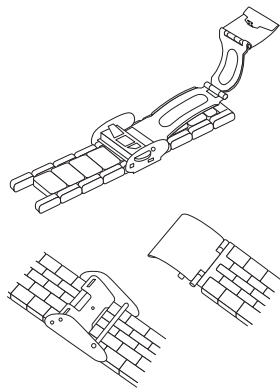
■電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「修理お申込み先」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「修理に関するお問合せ先」へお問い合わせください。
※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）



CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543

東京都渋谷区本町1-6-2